

限度額引上げの目的は、利便性向上と高齢者など弱者の救済

- 1) 限度額によって、
 - ・ 近くに郵便局があるのにわざわざ遠方の銀行に行かなくてはならない
 - ・ 年金受取金融機関に郵便局を指定しようとしても限度額オーバーなど郵便局の利用が制限されているお客さまが存在。高齢者の方には特にきびしい。
- 2) 仕方がないので、筆筒貯金をしていると、盗難や火災、地震といった災害の被害を受けやすい。こうした防犯、防災上の問題なども生じている。
- 3) これらの問題を解消するため限度額の引上げは是非とも必要。
- 4) なお、他の金融機関が郵政民営化委員会に提出された意見を拝見すると、めざすところは我々とほぼ同じ。ただし、一部の金融機関においては、限度額引上げにより民間金融機関からゆうちょ銀行への預け替えが発生することを懸念している。
- 5) しかし、現在、ゆうちょ、かんぽ生命保険の商品が他行に比べ優位という事実はなく、大幅な資金シフトが起きるとは考え難い状況。
また、我々には他の金融機関から預金を移し替えようなどという気はない。
- 6) 全国郵便局長会は、あくまでお客さまの利便性の向上や高齢者などの弱者救済のために限度額の引上げが必要であると考えます。